

主な特定非営利活動法人の活動（学校教育にかかわる活動を行っているもの）

法人名	設立日	所在地	目的	役員
金融知力普及協会	2002/06/18	東京都中央区日本橋1丁目4番1号	本会は、不特定多数の市民・団体等に対して、金融経済に関する幅広い分野で金融知力向上に係る教育普及活動を行い、社会教育の推進を目的とする。また、広く学校教育に携わる者に対して、金融経済教育を推進する者に対して、家庭人の育成と合わせて子どもへの健全育成に寄与することを目的とし、もって豊かな国民生活の実現に裨益する。	<p>[理事] 伊藤元重（東京大学大学院経済学研究科教授）</p> <p>[理事] 今井俊（国際エコノミスト）、加藤寛（日本FPF協会理事長）、安東俊夫（日本証券業協会会長）、神山孝雄（金融知力普及協会専務理事）、中谷巖（三菱UFJリサーチ&コンサルティング副理事長）、野中ともよ（ジャーナリスト協会専務理事）</p> <p>[顧問] 福井俊彦（日本銀行総裁）、遠山敏子（文部科学省顧問）</p>
経済知力アップ協会	2002/07/11	東京都調布市国領町1丁目1.8番地78	この法人は、国民生活の安定と向上に寄与する事を目的として、証券知識の普及に関する事業を行う。特に、「確定拠出型年金」及び「学校における証券教育」に重点を置く。	<p>[会長] 岡田幸男（元投資信託協会会長）</p> <p>[理事長] 廣本修正（元山一証券イナンス専務取締役）</p> <p>(役員数：理事13名、監事1名)</p>
経済学普及協会	2002/06/18	東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号	この法人は、広く消費者及び証券投資に関心のある個人が、証券投資に関心のある個人が、少人数で集まり、株式等に関する知識を学習し、その結果の実績として投資を行うことを目的とする。小人数サークル等（以下、「投資クラブ」と称する。）に対して、証券及び証券投資に関する知識の普及・啓発活動を行い、社会教育における公益の増進に寄与することを目的とする。	<p>[理事長] 越田弘志（日本証券業協会理事）</p> <p>[理事] 安東俊夫（日本証券業協会会長）、岩原紳作（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、川村雄介（長崎大学経済学部大学院教授）、神崎泰雄（日興シテイグループ証券顧問）、久保田政一（日本経済団体連合会常務理事）、国領次郎（慶応大学総合政策学部教授）、高橋厚男（日本証券経済研究所理事長）、竹林晴雄（野村証券顧問）、同前雅弘（大和証券グループ本社顧問）、豊田武久（金融広報中央委員会）</p>
日本経済学教育協会	2003/01/06	東京都新宿区市谷本村町3番21号	この法人は、広く学生を中心とする一般市民に対して、経済学に関する知識の啓蒙普及や調査研究、並びに情報提供や検定試験等を行うことにより、日本経済の発展に結びつくような経済学の知識向上を図り、個々の社会教育の推進に寄与することを目的とする。	<p>[会長] 西村和雄（京都大学経済学研究科教授/ロチエスター大学Ph.D）</p> <p>[副会長] 井堀利宏（東京大学経済学部教授/ジョーンズ・ボブキンス大学Ph.D）、吉野直行（慶應義塾大学経済学部教授/ジョーンズ・ボブキンス大学Ph.D）</p> <p>[顧問] 永田俊一（預金保険機構理事）、水口弘一（前・中小企業金融公庫総裁）</p> <p>[特別顧問] 貝塚啓明（東京大学名誉教授）、福岡正夫（慶應義塾大学名誉教授）</p>
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	2001/06/29	東京都港区虎ノ門4丁目1番28号 虎ノ門タワーズオフィス5階	この法人は、多くの国民に対してファイナンシャル・プランニングの重要性を広く普及するとともに、社会の変革に備えて個人資産を効率的かつ安定的に管理する役割を担うファイナンシャル・プランナーを養成・認証し、その行為についての倫理的規制を行うこととによって、国民レベルの資産形成・運用・管理を支援し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	<p>[理事長] 加藤寛</p>

法人名	金融知識普及協会	経済知のフォーラム	証券学習協会	投資・学習を普及・推進する日本経済教育協会	日本ファイナンシャル・プランナーズ協会
<p>主な事業内容</p>	<p>①金融知識普及・広報活動(シンポジウムの主催等) ②金融経済教育体系の確立(学校教育から企業人材育成までのカリキュラム策定等) ③金融経済教育活動の実施(通信教育講座、社員教育セミナー等) ④検定試験実施・能力検定(金融知識力検定、金融知識力インストラクター検定制度等)</p>	<p>①経済知識の普及・学校教育 ・特別授業(各分野の第一線で活躍している講師陣(大学教授・研究者等)が、中学校および高校で、「公民」、「政治経済」に関する連続授業を実施。 ・教育ボランティア・ネットワーク(地域における教育ボランティア・ネットワーカー、あるいは特定のテーマに絞った時間(1、2回の講義)に集約した、あるいは特定のテーマに絞った(オーダードアミーティブ型))</p>	<p>①金融証券知識の普及・学校教育の推進に関する各種政策の提言 ②証券学習講座の開催と講師派遣 ・株式投資基礎講座 ・投資信託基礎講座 ・特別講座 (「証券投資基礎講座」をより短時間(1、2回の講義)に集約した、あるいは特定のテーマに絞った(オーダードアミーティブ型))</p>	<p>①EBRE(経済学検定試験)の実施 ②主催講座の開催 ③証券投資・学習相談コーナーの開設 ④投資クラブの支援</p>	<p>①ファイナンシャル・プランニングに関する知識の普及と普及 ②ファイナンシャル・プランニングに関する調査、研究及び情報の提供 ③ファイナンシャル・プランニングに関する書籍の発行 ④国内外のファイナンシャル・プランニング関係機関との交流 ⑤ファイナンシャル・プランナーの教育と資格認定試験の実施</p>
<p>学校と関係する具体的活動</p>	<p>✓テキスト「ファイナンス基礎」 ・現役高校教師の監修の下、手軽に学べるテキスト。多くの大学、高校で使用。 ・身近な事例を通して実学的な内容を ・高校生でもわかるやさしい表現 ・ニュースでよく聞く様々な問題を解説 ✓講師派遣「学校向け講座」 ・小学校高学年、中学校、高等学校、大学まで、1コマ授業から10～20時間の総合的な学習の時間まで、ゲストティーチャーを派遣</p>	<p>✓特別授業 ・中学校・高校あるいは大学予備校などの地域の教育機関と共同で、中高生にむけた「経済」の授業を展開。 ・大学に籍を置く一流の専門研究者に、日本経済の仕組みや現状を中高生向けにやさしく講義してもらい、中高生が「経済」について考えをきっかけにもらおうという意図で企画。 (実施例) ・京都市立西京高校附属西京中学</p>	<p>✓特別講座(大学講義)・講師派遣 ・日本大学、大阪経済大学、中央大学 ・「証券市場論」、「証券ビジネスの特長と役割」</p>	<p>✓「証券カウンセラー」の無料派遣 ・証券取引等に精通した証券界のOBを中心とした150名を超える講師(「証券カウンセラー」が、ポランティアとして、公民館、生涯学習センターなど地域のコミュニティセンターや、中学校、高等学校、大学等の教育現場等についても訪問し、証券及び証券投資に関する講義を行う。 ①講義内容 証券や証券投資の基礎知識、株式投資の基本、将来に備えたライフ</p>	<p>✓EBRE ・主として大学の経済学部やその他社会科学系学部の学生、社会で活躍するビジネスパーソンを対象に、全国規模で経済学の教育的・理論的な基礎知識の習得程度と実体経済での初歩的な応用力のレベルを判定する試験。 ・第12回試験を7月1日、第13回試験を12月2日に予定。 ・2002年3月に「第1回EBRE(経済学検定試験)」を実施。 ✓EBREミクロ・マクロ ・主に学部の1・2年生、他学部</p>
<p>学校と関係する具体的活動</p>	<p>✓作文コンクールの実施 ・小学生「夢をかなえる」作文全国コンクール」は、小学生が、下記の学習教材(仕事のひみつ)編2『夢をかなえるひみつ』を読み、ライフプランニングの大切さの理解を深め、意義深い将来の夢を描いてもらうための取組み。 ・金融庁、日本経済新聞社、(株)学習研究社、日本FPF学会が後援。 ✓小学生向け学習教材 ・株式会社学習研究社とタイアッ</p>	<p>✓作文コンクールの実施 ・小学生「夢をかなえる」作文全国コンクール」は、小学生が、下記の学習教材(仕事のひみつ)編2『夢をかなえるひみつ』を読み、ライフプランニングの大切さの理解を深め、意義深い将来の夢を描いてもらうための取組み。 ・金融庁、日本経済新聞社、(株)学習研究社、日本FPF学会が後援。 ✓小学生向け学習教材 ・株式会社学習研究社とタイアッ</p>	<p>✓作文コンクールの実施 ・小学生「夢をかなえる」作文全国コンクール」は、小学生が、下記の学習教材(仕事のひみつ)編2『夢をかなえるひみつ』を読み、ライフプランニングの大切さの理解を深め、意義深い将来の夢を描いてもらうための取組み。 ・金融庁、日本経済新聞社、(株)学習研究社、日本FPF学会が後援。 ✓小学生向け学習教材 ・株式会社学習研究社とタイアッ</p>	<p>✓作文コンクールの実施 ・小学生「夢をかなえる」作文全国コンクール」は、小学生が、下記の学習教材(仕事のひみつ)編2『夢をかなえるひみつ』を読み、ライフプランニングの大切さの理解を深め、意義深い将来の夢を描いてもらうための取組み。 ・金融庁、日本経済新聞社、(株)学習研究社、日本FPF学会が後援。 ✓小学生向け学習教材 ・株式会社学習研究社とタイアッ</p>	<p>✓作文コンクールの実施 ・小学生「夢をかなえる」作文全国コンクール」は、小学生が、下記の学習教材(仕事のひみつ)編2『夢をかなえるひみつ』を読み、ライフプランニングの大切さの理解を深め、意義深い将来の夢を描いてもらうための取組み。 ・金融庁、日本経済新聞社、(株)学習研究社、日本FPF学会が後援。 ✓小学生向け学習教材 ・株式会社学習研究社とタイアッ</p>

法人名	金融知識普及基金	経済知識講座	希望のテーマに応じ	の学生やビジネスパーソンの対象に、経済学の重要科目であるミクロ・マクロの数理的・理論的な基礎知識の習得程度と実体経済での初歩的な応用能力のレベルを判定する試験。	日本ファイナンシャル・プランナー協会	日本ファイナンシャル・プランナー協会
<p>法人名</p> <p>金融知識普及基金</p> <p>選。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は、「お金教育は道徳教育」の理念の下、お小遣い帳からクレジットの、資金運用まで。 ✓認定資格「金融知識インストラクター」 ・セミナーや講習会での講師。2006年5月末現在、全国で800名。 ✓経済産業省「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」 【金融経済学習を核とした地域産業体験型学習】＝社会・経済の仕組みを理解、社会人・生活者としての素養・能力を身に付ける、職業観・勤労観を育む。 ・「やんばる夢発見プロジェクト」(沖縄県名護市)・小学校5校、中学校3校、商業高校1校 ・「おおだて子ども未来づくりプロジェクト」(秋田県大館市)・小学校7校、中学校2校 ✓ホームベージ「お金の教室」 ・楽しい話やゲームを体験しながら、お金のことを学べる、小学生向けのお金教室。 ✓全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 ・金融経済について学ぶ教育プログラム。3人1チームで、金融経済クイズに挑戦する 	<p>校</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回「暮らしと経済」 第2回「暮らしと仕事」 第3回「暮らしと会社」 第4回「暮らしと金融」 第5回「暮らしと環境」 第6回「暮らしと政府」 ・京田辺市立格良中学校 第1回「暮らしと経済」 第2回「暮らしと働き」 第3回「暮らしとおカネ」 第4回「暮らしと会社」 	<p>プランなど、希望のテーマに応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ②講師 「証券カウンセラー」としてNP Oエイプロジェクトに登録している講師を派遣。 ③対象人数 原則として10名以上 ④講演時間 1回当り1時間～1時間30分(応相談)。 ⑤派遣日時 いつでも(派遣希望日の3週間前までに要申込) ⑥派遣費用 講師派遣料(講演料、派遣交通費)は原則として無料(会場は主催者で用意)。 	<p>の学生やビジネスパーソンの対象に、経済学の重要科目であるミクロ・マクロの数理的・理論的な基礎知識の習得程度と実体経済での初歩的な応用能力のレベルを判定する試験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回試験を7月1日、第13回試験を12月2日に予定。 ※出題範囲は、 ・高試験共通・・・ミクロ経済学、マクロ経済学 ・ERBのみ・・・財政学、金融論、国際経済、統計学、時事経済 	<p>の学生やビジネスパーソンの対象に、経済学の重要科目であるミクロ・マクロの数理的・理論的な基礎知識の習得程度と実体経済での初歩的な応用能力のレベルを判定する試験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回試験を7月1日、第13回試験を12月2日に予定。 ※出題範囲は、 ・高試験共通・・・ミクロ経済学、マクロ経済学 ・ERBのみ・・・財政学、金融論、国際経済、統計学、時事経済 	<p>プし、小学校高学年の児童を対象とした、「学研まんがでよくわかるシリーズ 仕事のひみつ編2『夢をかなえるひみつ』」(非売品)の発行に協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年3月に全国の小学校約24,000校と図書館約3,000箇所に寄贈。 ・ライフプランニングの重要性と、ファイナンシャル・プランナーという職業を知ってもらう、子どもや保護者が夢やライフプランについて考えをきっかけとする。 ✓テキスト「10代から学ぶパーソナル・ファイナンス」 ・高校生向けに編集された「お金について学ぶ」テキスト ・実際に学校生活の中で生徒が直面するお金に関する問題、進学や就職後に必要になるお金に関する知識をテーマに構成。ワークシート付。(テキストの内容) ①高校生活とお金、②お金を知る、③お金の使い方、④お金の稼ぐ(仕事と収入)、⑤お金の貯める・増やす、⑥お金を借りる、⑦お金のトラブルに巻き込まれないために、⑧お金の準備、⑨ライフプランとお金 	

東京証券取引所、日本証券業協会の活動（学校教育にかかわる活動を行っているもの）

東京証券取引所、日本証券業協会（証券教育広報センター）	
対象	内容
1. 学生・教員向けの金融経済教育プログラム	
小中高生	<p>社会科見学・修学旅行の受入れ</p> <p>・東京証券取引所の見学コース、各種展示施設を社会科見学、修学旅行に利用可。</p> <p>・個別行動の生徒だけのグループでも見学受入れ。</p> <p>・見学の1、2週間前までに質問状を送付すれば回答</p>
中高校生	<p>株式学習ゲーム（中学・高校対象）（日本証券業協会との共同提供）</p> <p>・株式学習ゲームは、一定の仮想所持金（1,000万円）をもとに、実際の株式売買と同様に、現実の株価に基づいて模擬売買を行い、参加期間終了時の保有株式の時価と所持金残高の多寡により投資成果を競う。</p> <p>・ゲームの目的は、株式の模擬売買を通じて、株価変動の背景となつている現実の経済・社会の動きに生徒達の目を向けさせること。（具体的な学習効果）</p> <p>①シミュレーション教材であり、体験的学習が可能。普段は疎遠な感覚を持つ政治や経済に関心向けようになる。</p> <p>②ゲームを通じて経済的に合理的な選択が出来るための「意思決定」や「ダイベート」の訓練となる。</p> <p>③企業の見方が養われ、将来の進路を決める上で役に立ったり、家族の動機している企業を理解する一助となる。</p> <p>④株式投資の難しさや投資に対するリスクを身をもって学べる。（費用）主催団体が負担</p> <p>（教材）①売買対象企業一覧（「会社四季報」の直近版の抜き取り）、②ガイダンスビデオ（株式学習ゲームの進め方、授業への導入例などについて紹介）、③ビデオ「かぶしき虎の巻」（株式の仕組みや機能、株価変動要因などについて学べるゲームの導入教材）</p>
小中高生	<p>小・中・高校生のための経済セミナー&東証見学</p> <p>社会における会社の役割や経済活動の仕組みについてロールプレイングで楽しく学べるプログラム。東証アローズの見学と併せて学ぶことで、経済や証券の仕組みについてより深く理解できる。</p> <p>（受入人数）5名～50名 （所要時間）1時間半～2時間；①授業（45分～）テーマ：「株式会社のしくみ」「株価はなぜ動くの？」等、②東証アローズ見学（約40分）</p>
小中高生	<p>授業支援プログラム（小学校～高校対象）</p> <p>・東証スタッフが経済や株式会社、株式の仕組みをロールプレイングを交えて説明する出前授業（総合的な学習の時間）「社会科」「家庭科」「現代社会」等の授業に最適）（人数）クラス単位（50名以下）</p>
1. 学生・教員向けの金融経済教育プログラム	
対象	内容
中高校生	<p>株式学習ゲーム</p> <p>・株式の模擬売買を通じて、経済の動きや社会のしくみを学ぶことを目的とした学習プログラム</p> <p>・主催：日本証券業協会、東京証券取引所（詳細は東京証券取引所参照）</p> <p>・証券・金融に関する研究活動を行っている「全日本証券研究学生連盟」に対して活動資金の助成、情報の提供など、全面的な支援を行っている。経済・金融・証券に関するゼミの参加を呼びかけている。</p> <p>・主催：全日本証券研究学生連盟、証券研究関東学生連盟、証券研究中部学生連盟、証券研究関西学生連盟</p> <p>・後援：日本証券業協会、証券教育広報センター</p>
大学生	<p>全日本証券研究学生連盟</p> <p>・毎年夏休み期間に、高等学校・中学校の公民科・社会科等の先生を対象とした夏期セミナーの開催並びに開催協力をしている。</p> <p>・主催：日本証券業協会、証券教育広報センター他</p> <p>【内容】</p> <p>◎公民科・社会科研究セミナー（名古屋で開催）</p> <p>主催：日本証券業協会、証券教育広報センター</p> <p>後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、石川県教育委員会、福井県教育委員会、全国公民科・社会科教育研究会</p> <p>開催日：平成18年8月8日（火）～9日（水）</p> <p>◎公民科・社会科研究セミナー（大阪市開催）</p> <p>主催：日本証券業協会、証券教育広報センター</p> <p>後援：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会、大阪府教育委員会、大阪府高等学校（地歴・公民科）研究会、大阪府公立中学校社会科教育研究会、大阪府金融広報委員会</p> <p>開催日：平成18年8月9日（水）～10日（木）</p> <p>◎証券・経済セミナー（東京開催）</p> <p>主催：全国公民科・社会科教育研究会</p> <p>協力：日本証券業協会、証券教育広報センター</p> <p>後援：文部科学省、金融庁、福島県教育委員会、茨城県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、山</p>
教員	<p>夏期セミナー（高等学校・中学校教員向け）</p>

小中学生	シニア先生の親子経済教室	(所要時間) 1時間もしくは2時間 (テーマ) 「私たちの暮らした株式会社」、「株式会社のしくみと証券市場」、「株価はなぜ動くの？」等 (費用) 無料 (対象) 小学校4年生以上、中学校3年生までの児童・生徒とその保護者 (開催日) 19年8月1日～24日 (定員 (各回)) 25組50名 (参加費用) 無料 (内容 (各回共通)) わたしたちの暮らしと経済のかかわり、株式会社のしくみについて
中学生	中学生・高校生のための金融体験バスツアー	・中学生や高校生を対象とした、お金や株が取引されている現場の見学。 (見学先) トウキョウウォレットックス上田ハロー(為替取引の見学)、貨幣博物館、日本銀行、東証アローズ、野村証券ディーリングルーム (株式取引の見学) お札と切手の博物館
小中高生	夏休み特別企画 東証大発見クイズ	・小学生・中学生・高校生を対象にクイズを実施。東京証券取引所館内に展示してある資料や大画面の中から答えを探す。証券について楽しみながら学ぶ。
大学生	大学生向けセミナー&東証見学	・大学生を対象に、証券市場についての理解を一層深めることを目的に、要望に応じたテーマでのセミナーを開催。 ・出張講義も可 (事前に要相談) ・人数5名以上で開催可。 ・プログラム: 「東証アローズ」見学(1時間程度)の後、以下のテーマの中から選んで頂いたテーマでのセミナー(1時間～1時間30分程度)を開催。 (テーマ) 証券市場の仕組みと機能、株式の発行と取引方法、証券市場をめぐぐる最近の状況、上場とディスクロージャー、証券の種類と特色、信用取引制度、証券投資信託の仕組み、デリバティブ市場の基本的な仕組み、新興企業向け市場、証券市場の歩み、会社の見方、調べ方 (費用) 無料
教員	教員のための東証・日銀セミナー	【授業に役立つ金融経済体験ワークショップ】 ・中学校・高等学校の社会科・公民科の教員を対象に夏休み期間に開催。 ・金融経済教育を授業でどのように展開するのか、具体的な授業のノウハウや教材を実際に体験し、すぐに役立つ内容を提供 ・2日間コースと8日間コースがある。

教員	インターンシップ (高等学校・中学校教育関係者向け) (教育関係者向けインターンシップ) および「証券1日セミナー」の開催	東京証券委員会、長野県教育委員会、新潟県教育委員会 開催日: 平成18年7月26日(水)～7月28日(金) ・証券業界の取り組みや証券・金融に関する理解を深めてもらうことを目的に、証券市場に関する講義や証券取引所への見学等を行う 研修 ・東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、東京都の中学校、高等学校の教員および教育関係者。教科、職務等を問わず広く教育関係者の参加が可能。 ・「教育関係者向けインターンシップ」は、体験型学習教材、または株式を中心とした証券に興味がある方を対象とし、内容は証券の基礎知識が中心。8日コース。 ・「証券1日セミナー」は、主に公民科・社会科の教員など、すでに証券の基礎知識を持っている方を対象。内容は、新聞の証券・経済面の上手な活用方法、株式会社の新規上場へ上場基準・スケジュールと準備作業へ、証券取引所の役割と課題、教育教材の紹介。 ・学校現場における経済・金融教育の取り組み状況等について、各証券団体等と連携を図りながら調査活動を行っている。 ・「学校における経済・金融教育に関する実態調査」の報告書(主催: 日本証券業協会 証券教育広報センター他、製作: 金融証券知識の普及に関するNPO 連絡協議会、証券知識普及プロジェクト) ・学校における経済・金融教育の実態を把握し、今後の教育現場への経済・金融教育普及に役立てるため実施 (前場)
教員	調査活動	
教員	全日本証券研究学生連盟	
教員	株式学習ゲーム感想文・小論文の募集	・株式学習ゲームに参加された中学校・高等学校の生徒から感想文を募集。また、指導の先生から学習効果等に関する小論文を募集。 優れた感想文・小論文については表彰。 ・主催: 日本証券業協会、東京証券取引所

2. 金融経済教育用の教材

種類	名称	対象	内容
教材キット	みんなの体験! 株式会社とお金のしくみ～中学生・高校生のための経済・金融体験プログラム～	中・高校生	・「会社経営者」、「消費者」、「投資家」の3者の体験を通じて「経済」や「金融」について学習する体験型教材 ・主催: 証券知識普及プロジェクト (詳細は東京証券取引所参照)
Web教材	証券クエスト	中学生、大学生	・証券・金融の基礎知識が学べるWeb教材 ・主催: 証券知識普及プロジェクト

テキスト	金融・証券学習テキスト 「株式会社制度と証券市場のしくみ」	高校・大学生	【詳細は東京証券取引所参照】 ・株式会社制度や株式の経済的意義などについて分かりやすく解説したパンフレット 【テキスト内容】 1. 私たちの生活と会社 (1) 経済を支える会社、(2) 会社とは、(3) 会社の種類 2. 株式会社の資金の集め方 (1) 会社の資金調達、(2) 直接金融と間接金融、(3) 純資産と他人資本（負債）、(4) 資本と資産 3. 株式会社のしくみ (1) 株式会社とは、(2) 株式と株券は違うもの？ (3) 株主に与えられる権利と責任、(4) 株主になりたいとき、やめたいときは、(5) 株式と株価 4. 証券市場の役割 (1) 証券市場とは、(2) 発行市場、(3) 流通市場、(4) 証券取引所、(5) 証券取引所への上場とは、(6) 証券会社のしごと ・わが国の証券・金融市場の仕組みや役割といった基本的な事項から、近年大きく進展する証券市場改革などについて解説した証券・金融市場の入門書。
テキスト	「新・証券市場 2007」	大学生	【内容】 第1章 金融・証券の基礎知識 第2章 金融市場の変遷 第3章 証券の種類と性格 第4章 証券市場の仕組み 第5章 投資信託 第6章 証券関連規制と証券会社 (前編)
テキスト	「新・証券市場 2007」	教員	

※「証券知識普及プロジェクト」は、日本証券業協会、東京証券取引所、投資信託協会等が参加し、長期的・継続的に証券知識の普及・啓蒙を図ることを目的に、学校における経済・金融教育に役立つ各種学習教材の提供、一般消費者向けのセミナーや講演会の開催等、多岐にわたり活動している。

教員	教員研修会等への講師派遣	【東京・日銀セミナー】 日本銀行の協賛を得て、春休み(3月)、夏休み(8月)、冬休み(12月)に中学・高校教員向けのセミナーを開催。 【金融・経済体験学習教材説明会】 株式の機構売買を通じて、現実の経済や社会の動きを学ぶ「株式学習ゲーム」の実施要領の説明会と、株式会社の経営を通じて経済・金融を学ぶ「みんなが体験！株式会社とお金のしくみ」の概要や導入方法の説明会を中学校・高等学校の先生方を対象に春、夏、冬休みの期間に開催。 ・中学・高校の社会科、公民科、家庭科教員が主催する、またこれらの先生方を対象とした研修会や勉強会に、東証の職員を講師として派遣し、希望のテーマで講演。 (対象) 中学・高校の社会科、公民科、家庭科教員が主催する、または教員を対象とした研修会等 (人数) 7～8名程度以上(上限なし) (テーマ例) 株式の仕組みと機能、株式学習ゲームを使った教材の紹介、私たちのくらしと貯蓄・投資、株はどうやって発行され取引されるのか、証券市場をめぐる最近の動き、会社の見方・調べ方、教材キット「シェア先生と楽しく学ぼう株式会社のしくみ」の実践紹介 (費用) 無料。
教員	教員向けメールマガジン	中学、高校、大学等の教員の方および学校教育に直接携わっている方を対象に、メールマガジン「TSB 教育ホットライン」を発刊。 (会費) 無料 (主な内容) 東証及び関連機関による教員向けのセミナーやイベントの開催及び新しい教材の紹介、経済教育や金融教育について書かれた論文やエッセイ等の紹介など。

2. 金融経済教育用の教材

種類	名称	対象	内容
教材キット	シェア先生と楽しく学ぼう 株式会社のしくみ	中・高校生	・東証から講師を派遣する「授業支援プログラム」で使用している教材を先生自身が授業で活用できるよう、教材キット「シェア先生と楽しく学ぼう 株式会社のしくみ」(ワークシート、ティーチャーズガイド、学習ビデオ、プリント、用語解説集等)を制作。 ・「株式会社のしくみ」「社会や経済の動きと株価」「コンビニ業界を研究してみよう」の3つのテーマで構成されており、1～3時間の授業時間で実施可能。

教材キット	「みんなが体験！株式会社とお金のしくみ」 (主催：証券知識普及プロジェクト)	中・高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の特徴を経験を通じて、経済や金融について学習する体験型教材。生徒一人ひとりが体験を通じて、市場経済の仕組みや金融の役割などについて体系的に学ぶことで、経済・金融に関心を持ち、理解をより深めることが目的。 ・生徒用ワークブック、ワークシート、教授用手引書、ガイドダンスビデオ等の教材を用意(無料) ・教材を実施する際、希望により東証の講師によるサポート有(授業支援プログラム)。 ・教材の内容：はじめに「知識編」で経済や金融に関する基礎的な知識を学び、次の「体験編」では、グループ活動としての「株式会社経営」と個人活動としての「投資」を、教室内でのワークを通じて疑似体験する。
小冊子	「知っていますか？東京証券取引所」	大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・証券取引所における売買の仕組み、上場、決済、信用取引、先物取引、オプション取引などをイラストによってわかりやすく解説(B5版、全41ページ) ・授業での利用希望の先生には無料配付
小冊子	「株式ABC」	小中高生	<ul style="list-style-type: none"> ・株式のしくみについてわかりやすく、「会社って何?」「株はどこで買えるの?」「売れるの?」「なぜ株を買えるの?」「株はなぜ動くの?」などといった子供たちの素朴な疑問に答える(A5版、全88ページ) ・授業での利用希望の先生には無料配付
ビデオ教材	株式と私たちの生活	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀の東インド会社を例に、株式会社はなぜ誕生したのか、現代の生活に株式がどうかかわっているのかなどについてアニメーションでわかりやすく解説(上映時間15分) ・授業での使用を希望する全国の小・中学校に無料配付。
ビデオ教材	「シェア先生と楽しく学ぼう 株式会社のしくみ」	中高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・「株式会社のしくみ」、「社会や経済の動きと株価」をテーマとした2編構成のビデオ/DVD。「株式のしくみ」「金利」「為替」などについてわかりやすく説明(上映時間:20分(各テーマ10分)) ・教材キット「シェア先生と楽しく学ぼう 株式会社のしくみ」に同梱(ビデオ/DVD単独での利用も可能)DVDにはワークシート(生徒用・先生用)付。 ・授業での使用を希望する中学・高校に無料配付。
ビデオ教材	かぶしき・虎の巻 (「証券知識普及プロジェクト」の一環)	中高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生向けに株式の仕組み等をわかりやすく解説した教材用ビデオ(上映時間34分)。 ・江戸末期の浪人(風見しんご)が、何か商売を始めようとする浪人(西澤新次郎)を誘っているうちにタイム・ス

<p>ビデオ教材</p>	<p>おしえてマリリン 「How To 資産運用」 （「証券知識普及プロジェクト」の一環）</p>	<p>大学生 （一般も対象）</p>	<p>リップして現代に選い込み、會社・孫娘（株 瑞美）から、会社や株式の仕組みや役割、株の売買方法、株価変動要因などについて学んでいくというドラマ仕立て。 ・授業での使用を希望する中学・高校に無料配付。 ・資産運用について解説したビデオ教材（上映時間 98 分）。 ・老後の生活を心配する中年夫婦や、自分たちの店を持ちたい夫婦など、お金の悩みを持つ一家に、ロボットのマリリン（山田まりや）が、金融商品の選び方、リスクの種類、リスクの分散、さらには株、債券、投資信託への投資など、資産運用の How To を基礎からわかりやすく説明。 ・授業での使用を希望する大学に無料配付。 ・本サイトは、東証が学校の現場に講師を派遣して出張授業を行う「授業支援プログラム」の際の講師の呼び名である「シェア先生」をメインキャラクターとして、つぎのような構成となっている。 (1) 『シェア先生の経済教室』 会社や株式市場のしくみと役割、株価はなぜ動くのかなどについてシェア先生やその仲間たちとともに学ぶ。 (2) 『東証の沿革紹介』 高校生がキャスターになって東証に潜入してルポを行ったり、東証社員の一日の様子や東証の歴史がわかる。 (3) 『シェア先生の授業レポート』 全国各地の学校から招かれて活動している様子を紹介。 (4) 『3分でわかる経済ナビ』 中学の『公民』や高校の『現代社会』の教科書に出てくる経済用語などについて、各テーマ約 3 分の動画を見ることで、登場人物の大学生とともに学ぶ。 ・インターネットを通じて、証券の基礎知識を学ぶためのホームページ。 ・証券博士から株式や債券などの仕組み・特色について講義を受け、さらに、証券会社や証券取引所など様々な金融機関を訪ねて楽しく学ぶことができる。 ・各項目の最後に理解度をチェックするためのクイズ有。</p>
<p>Web 教材</p>	<p>Web サイト「東証ティーンズ・スクール シェア先生の経済教室」</p>	<p>中学生</p>	
<p>Web 教材</p>	<p>Web 教材「証券クエスト」</p>	<p>中学生</p>	

教育と企業の連携推進に向けて

教育と企業の連携推進ワーキング・グループ中間まとめ(概要版)

2007年5月7日

日本経団連教育問題委員会
教育と企業の連携推進WG

1. 基本的考え方

企業: 次世代育成を社会的責任の一つとして位置づけ、当事者意識を持って取り組む
教育界: 国民の期待に応える学校教育実現の担い手として改革に取り組む
→ 学校経営や授業の改善に向けて教育と企業の連携を強化する
(総合的な学習の時間やキャリア教育など)

2. 企業の教育分野の社会貢献活動の現状

社会貢献活動支出全体に占める教育分野の比率は最も高く、増加傾向(2005年度16%)
①講師派遣など授業への協力、②社会体験活動・インターンシップ受け入れ
③学校と連携した課外活動への協力、④教員対象の講座・インターンシップ、など

3. 学校教育と企業の連携促進に向けた課題

教育委員会を中心に連携プログラム推進に向けた企業などとの対話の機会を設ける
連携に対する不安感、抵抗感の払拭
学校・企業双方の対応窓口の明確化
組織的かつ効率的な対応、連携プログラムの事例紹介 など

4. 産業界の今後の取り組み

(1) 日本経団連の取り組み

- ①日本経団連、経済広報センターの教育支援活動の充実
(奨学金事業、教員の民間企業研修、子供向け産業データの提供、環境教育事業など)
- ②企業の連携プログラムについての情報発信強化
- ③会員企業などに教育への協力を呼びかける
(連携プログラムの充実、社員が学校教育に積極的に参加する機運を醸成)

(2) 経済団体間での連携強化

- ①企業などの連携プログラムに関する情報のネットワーク化・共有化
- ②連携プログラムのモデルケース・先進事例などの情報を発信
- ③連携プログラムを通じ、企業が求める人材像を教育界に伝える

(3) 各企業の取り組み

- ①連携プログラム、この他の教育分野の社会貢献活動の充実、情報発信
- ②社員にツールやノウハウを提供する等、学校教育に参画することを奨励・支援
- ③子どもに悪影響を与えると思われる番組や有害情報から子どもをまもるよう配慮

5. 教育界、自治体への要望

(1) 教育委員会が、学校と企業の連携促進を積極的に支援・調整

- ①企業との連携促進への明確なスタンス表明、②連携プログラムの周知
- ③学校側のニーズ把握、情報交換の機会の設定、日程調整 等

(2) 学校が組織的に対応するための環境を整備

- ①予算措置、②地域・企業など外部との連携を学校・校長への評価項目に位置づけ

(3) 学校(校長、教員)が明確な目的意識を持ち、主体的に取り組む

- ①事前事後の打合せの実施、②共通の目標設定、スケジュール管理への理解

(4) 自治体の関係部局が連携、既存の人材、ノウハウなどを活用(コーディネート機能強化)

- ①社会福祉協議会、NPO支援センターの機能を活用、②NPOを活用

(5) 国、教育委員会は学校と企業の連携プログラムの好事例を把握し紹介

日本経団連の教育支援事業（概要）

日本経団連は、教育問題委員会、産業技術委員会、情報通信委員会などの活動を通じて、別添の政策提言を行なってきた。それら以外に、以下のような教育支援策を実施している。

1. 奨学金事業

(1) (財)国際文化教育交流財団（理事長：御手洗富士夫日本経団連会長）

① 国際文化教育交流財団奨学生

日本人大学院生を2年間、毎年4名程度海外に派遣（累計171名を派遣）

② セイホ・スカラシップ奨学生

アジア諸国からの学部私費留学生(学部3、4年生)を対象に、2年間、毎年12名程度に奨学金を支給（累計286名に支給）

(2) 皇太子奨学金日本委員会

日本人大学院生を2年間、毎年2名ずつハワイ大学大学院に派遣。また、ハワイ大学大学院生を2年間、毎年2名ずつ日本の各大学院に受入（累計125名を派遣・受入）

(3) (社)UWC日本協会(会長：野村吉三郎全日本空輸最高顧問)

高校二年生・三年生を2年間、毎年10名程度、世界各国のUWC8校に派遣（累計435名を派遣）

2. 情報提供活動

(1) キッズコーナー（ホームページ上の子供向けの情報提供）

経団連の活動紹介、会員企業34社等のキッズコーナーへのリンク

(2) 教育・社会教育分野をはじめとする社会貢献活動の紹介

① 社会貢献活動実績調査結果を毎年刊行

② 社会貢献担当者懇談会における教育関連の社会貢献活動の事例共有化を行なうとともに一層の推進策の検討。

3. インターンシップ関係

(1) 高校、高専、大学、大学院生等対象インターンシップ（夏休み期間、2003年度から実施。2006年は約1万人が3367社で研修、累計約33,000人が参加）

(2) 「教員のための社会・経済研修プログラム」（2004年に開催、約25名が参加）

以上

経済広報センターの教育支援事業（概要）

(1) 教員の民間企業研修

教員の民間企業研修は、夏休み期間に小・中・高等学校などの先生に企業活動を3日間実体験していただき、その体験や見聞を子どもたちへ伝えていただくことを目的に、1983年より毎年実施している。2006年度は88社、611名の教員が参加した。1983年の本事業スタート以来24年間で、累計で7,507名の先生方が183社で研修を受けた。

(2) 大学への企業人派遣講座

次代を担う大学生に、最新の経済動向や産業の実態などについて理解してもらうことを目的に、1986年度から企業の経営幹部や技術者を講師として大学に派遣している。2006年度は、早大、慶大、広島市立大、東工大、京大、同志社大ならびに大学コンソーシアム京都（京都の46大学・短大）で実施した。講座の一部はインターネット回線で結び相互に受講できるようになっている。いずれの大学も単位認定講座である。2006年度は93名の企業人を派遣した。

(3) ホームページ「産業データプラザ」

当センターのホームページ上に、小・中学生でも日本の産業について分かりやすく理解できるよう、40の産業の基礎的データを動画、グラフで説明した「産業データプラザ」を開設している。

(4) 環境教育推進事業

次世代を担う子どもたちに、日本の産業界の取り組みを通じて地球環境に対する理解を深めてもらうため、TOS S（教育技術法則化運動）と連携して小中学校の授業で環境教育を展開している。

①「最新環境教育（CO₂等）」授業テキストの作成・改訂

2006年度は、従来の9業種12種類の業種別テキストを最新のデータなどに基づいて改訂するとともに、新たに「住宅」「銀行」「流通・小売」の3種類の業種別テキストを作成した。

②教員向け「最新環境教育（CO₂等）セミナー」を支援

前項のテキストを用いた授業方法を共有化し、教育現場での普及を図るため、前述のTOS Sが主催する、教員向けセミナーを7回、後援した。

(5) エネルギー教育推進事業

子どもたちが、環境・エネルギーの問題についての正しい知識を習得できるよう「エネルギー教育」の普及に努めている。

①教員向け「エネルギー教育シンポジウム」開催への支援・協力

2006年度もエネルギー教育全国協議会が全国各地で開催している「エネルギー教育シンポジウム」を支援・協力した。毎回、100人以上の先生が参加した。

(6) 産業教育（金融）推進事業

経済や金融のしくみを分かりやすく教えるため、小学生を対象とした「金融教育」の副読本を作成した。さらに、副読本を使った模擬授業を紹介する、小・中校教員を対象とした「産業教育（金融）シンポジウム」を開催した。

①金融教育副読本『子どもに教える お金と金融のしくみ』（148頁）発行。

金融関連8団体の協力のもと11月に発行した。

②教員向け「産業教育（金融）シンポジウム」を支援

③2007年度は「金融」に加え、「物流・貿易」の副読本を作成し、シンポジウムを開催する。

以上

各銀行が取り組んでいる「金融経済教育」に係る活動の具体的内容等

(業態別実施銀行数)

	合計	業態別		
		主要行等	地銀	第二地銀
インターンシップ・職場体験・企業見学受入れの実施	23	6	13	4
NPO法人と共同で金融教育プログラムやイベント実施	17	8	7	2
大学(学部)における寄附講座開設・講師派遣	15	6	9	—
小・中・高校への講師派遣	12	3	6	3
テキスト開発	4	4	—	—
教員等を対象とした公開講座開催	3	3	—	—

※ 全銀協正会員銀行(128行)の2007年版ディスクロージャー誌を調査した結果を整理したものの。

グループで実施している場合は、グループ内の全銀行が実施しているものとしてカウントした。